



**Salzmannschule Schnepfenthal**  
**Staatliches Spezialgymnasium für Sprachen**  
**Waltershausen / Schnepfenthal**  
ザルツマンシューレ シュネップフェンタール  
州立言語特別ギムナジウム  
ヴァルターズハウゼン/シュネップフェンタール



**INFORMATIONEN ZUM SPRACH- BETRIEBSPRAKTIKUM IN KLASSENSTUFE 11**

**11 年生における言語・企業研修についてのお知らせ (JAPANISCH)**

ザルツマンシューレ では、生徒の外国語能力の発達に特に重きを置き、そのために時間を費やしています。

我が校における現代外国語授業の目標は、異文化を理解するための能力、またその異文化の中で外国語を使い、意思疎通をするための能力を養うことです。

我が校が考える外国語運用能力とは、その外国語社会での人々との相互的な関わりを通して習得されるものであり、また生徒が外国語文化圏の現実社会において、多様な実例を通して認識するという条件として成り立ちます。生徒は外国語文化圏の現実社会を熟考し、その社会に相応した行動をとらなければならないのです。

この学校方針から、11 学年の全生徒が言語・企業研修を実施することが義務付けられています。

この言語・企業研修は 4 週間と定められており、規定によって秋休みの 2 週間前から始まることになっています。

我が校では、海外の研修地を生徒のために用意しています。学校を通しての研修では、我が校が研修に関して責任を持つことになっております。また生徒が個人的に研修地をドイツ国内や海外に探すということも可能です。

生徒の研修を受け入れる機関としましては、海外やドイツ国内における教育施設や公共的機関、もしくは公益社団法人また企業などが挙げられます。

生徒が研修をドイツで実施する場合、研修期間中には保険があります。ただし海外における言語・企業研修の場合には、生徒が個人の責任で保険契約をしなければなりません。

言語・企業研修のための費用は生徒の家庭が全て負担することになっています。

言語・企業研修の間に生徒は、研修内容についての報告書を作成しなければなりません。

以下のことは、研修期間中に少なくとも 1 つは実現されなければならないことです。

- 研修地で使用される言語知識の向上
- 歴史的、文化的、地理学的、また社会的、経済的、そして政治的なことに関する研修国への知識を深めること
- 企業や公共的機関、公益社団法人もしくは教育施設が、どのように機能しているかという経営学的観点からの認識
- 研修国もしくは研修受け入れ期間に関する卒業論文

学校長  
Dirk Schmidt  
ディルク・シュミット